

【NEWS RELEASE】

2021年1月29日

各 位

株式会社三井住友銀行

東亜グラウト工業株式会社に「SMBC 働き方改革融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、東亜グラウト工業株式会社（代表取締役社長：山口 乃理夫）に「SMBC 働き方改革融資」を実施いたしました。

「SMBC 働き方改革融資」は、融資実行時にお客さまの働き方改革推進の取組状況を独自の基準で“見える化”（※）し、その結果をご提供するとともに、今後の更なる取組推進に向けた情報提供を行う融資商品です。

今回対象となりました、東亜グラウト工業株式会社に対する診断結果は、今後、働き方改革が期待できる「働き方改革のグロース企業」となりました。

特に、東亜グラウト工業株式会社は、以下のような取組と実績を有しておられます。

- ① 残業時間抑制に伴い削減された時間外手当の支給額分を、給与のベースアップなどで社員への還元を実施
- ② Web カメラ（ボディカメラ）を現場で作業する社員に設置し、遠隔からも指導ができるようにする仕組を導入し、生産性向上に寄与
- ③ 人事評価制度に、業務効率化・働き方改革委員会活動への参加・有休取得率・長時間労働削減などの評価項目を導入し、マネジメントへの意識向上・コミットメントを高める工夫を導入

さらに同社では、今後の更なる働き方改革に向け、ビックカンパニーより「グッドカンパニー（①高い顧客満足度②高い従業員満足度③継続的増収増益体質）」を目指すと宣言し、具体的な取組の進化に向けた目標として、以下をコミットしておられます。

- ・ 業務内容・労働時間に見合った給与報酬体系、自分の成長を実感できる業績評価の仕組、公平・公正な評価の実現
- ・ 2020年までに時間外労働を20%削減（2017年対比）
- ・ 年休取得下限規制の設置による年休取得日数5日以上の実現
- ・ 学び尊敬しあえる職場関係、ハード面での職場環境の整備

三井住友銀行では、「SMBC 働き方改革融資」により、お客さまの働き方改革に向けた取組を、金融を通じて応援してまいります。

（※）“見える化”については、基準の客観性および信頼性を確保するため、本分野で豊富な知見を有する株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）に業務を委託しております。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。